

令和4年度 学校評価

～具体的取組ごとの評価指標と目標値による評価～

評価方法

各重点取組分野ごとに、具体的取組の評価指数が目標を達成している項目により、次のような評価をする。

目標を達成している項目数	評価
90%以上が達成している	A
半数以上が達成している	B
達成したのは半数未満である	C

凡例

【90%以上】 目標値

赤字 目標を達成

 昨年度より良くなった

単位がない データがない

 又は未実施

令和5年1月
横浜市立今宿小学校

重点取組分野1 生きてはたらく知(知)

(1)グループで学習し、考えを深めたり、広げたりして、学力を向上する。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	1	学校の授業に進んで取り組んでいますか。 「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」の割合の合計【90%=市の目標値】	今宿小	0	0	94
			横浜市	0	0	90
	2	学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 「できている」「だいたいできている」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0	0	83
			全国	0	0	78.2
	3	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	90	86	88
			全国	0	78.8	80.1
	4	今年度受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	88	85	88
			全国	0	82.6	77.3
職員	5	①資質・能力育成のために「グループワーク」を活用した授業改善に取り組んだ			A	
	6	②資質・能力育成のために「思考ツール」を活用した授業改善に取り組んだ			A	
	7	③資質・能力育成のために「カリマネ計画」を作成、活用して取り組んだ			B	
	8	④一人ひとりの学力向上のために「少人数指導」していることを理解し、指導した			A	
学校	9	少人数指導を実施する	実施	実施	実施	
	10	授業研究を実施する	実施	実施	実施	

(2)主体的に学ぶ姿勢を育む。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	11	学校図書館に行くことが好きですか。 「好き」「どちらかといえば好き」の割合の合計【80%=市の目標値】	今宿小	90	87	84
			横浜市	0	0	84.8
	12	学校の授業以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。 「30分以上」の割合の合計【60%以上】	今宿小	59	52	52
			全国	0	0	36.4
	13	家で自分で計画を立てて勉強に取り組んでいますか。 「取り組んでいる」「だいたい取り組んでいる」の割合の合計【80%以上】	今宿小	0	0	77
			全国	0	0	71.7
	14	学校の授業以外に、普段、1日どのくらいの時間、勉強をしていますか。 基準時間以上勉強している割合【70%以上=市の目標値】	R2年度	47	50	54
			全国の6年生60分以上⇒			59.4
		1年生(30分以上)	今宿小	79	68	88
		2年生(30分以上)	今宿小	64	75	80
		3年生(45分以上)	今宿小	41	49	62
		4年生(45分以上)	今宿小	32	38	38
		5年生(60分以上)	今宿小	35	33	22
		6年生(60分以上)	今宿小	28	36	26
職員	15	⑤主体的に学ぶ姿勢育成のためであることを理解して「朝学習」を指導した			A	
	16	⑥学びの必然性と学びを活かすために「体験的学習」を取り入れて指導した			A	
学校	17	図書室の年間貸出し冊数【10,000冊以上】	13,660	15,732 2022/2/7	11,785 2023/12/23	
	18	「家庭学習通信」を朝会で紹介したり、学校HPIにアップしたりして啓発する。			実施	

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	11/14	12/14	14/18
A:90%以上達成している(17~18)			
B:半数以上が達成している(9~16)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~8)			

重点取組分野2 豊かな心(徳)

(1)多面的多角的な見方、考え方を育てるとともに、自己肯定感を高める。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	1	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。「取り組んでいる」「どちらかといえば取り組んでいる」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	89
			全国	0	0	80
	2	自分にはよいところがあると思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	78	77	78
			全国	0	0	79.3
職員	3	⑦多面的・多角的な見方育成のため「考え、議論する道徳の時間」となるよう指導した			A	
	4	⑧自己肯定感、他者受容を高めるために「社会的スキルプログラム」に取り組んだ			B	
	5	⑨確かな人権感覚・意識を育成するために「人権学習プログラム」(YP人権内容)含むに取り組んだ			B	
学校	6	社会的スキル横浜プログラムを実施する。			実施	

(2)他者とのかかわりの中で他者受容の心を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	7	人が困っている時は、進んで助けていますか。「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	94
			全国	0	0	88.9
	8	自分とは違う意見について知り、考えを広げることは楽しいですか。「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	90
			全国	0	0	73.5
職員	9	⑩自己有用感を高めるためと理解して「異学年活動」を指導した			A	
学校	10	ふれあい活動、あいさつ運動を実施する。			継続	
	11	6年生にコーチングの授業を実施する。			新規	

(3)異学年交流や豊かな心育成のための体験活動などを通して様々な立場を理解するとともに、自己有用感を高められるよう取り組む。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	12	先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。「思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	85
			全国	0	0	87.1
	13	体力や技能の程度、性別や障害の有無等に関わらず、多様な人と運動・スポーツを楽しみたいと思いますか。「思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【70%=市の目標値】	今宿小	0	0	92
			横浜市	0	0	85
職員	14	⑪豊かな心育成のためと理解して「音楽活動・芸術鑑賞・読書活動」を指導した			A	
学校	15	児童に人権集会や人権週間などで人権について考える活動をする。			実施	
	16	職員人権研修を実施する。【1回以上】			実施	

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	12/14	9/14	12/16
A:90%以上達成している(15~16)			
B:半数以上が達成している(8~14)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~7)			

重点取組分野3 健やかな体(体)

(1)自ら運動に親しむ態度を育て、運動時間の増加に取り組む。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	1	学校の休み時間や放課後に普段、週にどのくらい体を動かしていますか。「1週間に3回以上」の割合の合計【50%＝市の目標値】	今宿小	0	0	56
			横浜市	0	0	38.8
職員	2	⑫自ら運動に親しむ態度育成のためと理解して「体育授業」を指導した				A
学校	3	自分の体力を把握できるように体力テストを実施する。			実施	実施

(2)自ら健康に過ごそうとする態度を育て、よい生活習慣の定着に取り組む。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	4	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。「いつも」「ときどき」の割合の合計【70%以上】	今宿小	0	0	68
			全国	0	0	81.5
	5	普段、1日あたりどれくらいの時間、ゲーム、SNSや動画視聴などをしていますか。「3時間くらい」「2時間くらい」の割合の合計【50%以下】	今宿小	50	53	53
			全国 2時間以上	↑30分以上↑		48.5
	6	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。「守っている」「だいたい守っている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	94
			全国	0	0	71.5
職員	7	⑬自ら健康に過ごそうとする態度育成のためと理解して「健康教育・食育・薬物防止教育・放射線教育」に取り組んだ				A
学校	8	学校保健委員会に取り組む。		実施	実施	実施
	9	「保健だより」を発行し学校の保健状況を知らせるとともに啓発を図る。		実施	実施	実施

(3)食べることに興味をもち、自分から健康に良い食事をしようとする態度を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	10	朝食を毎日食べていますか。「必ず食べる」「だいたい食べる」の割合の合計【90%以上】	今宿小	94	94	94
			全国	0	0	94.4
	11	朝食を毎日食べていますか。「まったく、またはほとんど食べない」の割合の合計【3%未満＝市の目標値】	今宿小	2	1.7	1.6
			全国	0	0	5.5
	12	食べることに興味をもち、自分から健康に良い食事をしようとしていますか。「している」「だいたいしている」の割合の合計【90%＝市の目標値】	今宿小	0	0	84
			横浜市	0	0	0
学校	13	栄養職員による食の指導を実施する。		実施	実施	実施
	14	「給食だより」を発行し給食について知らせるとともに食育啓発を図る。		実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	9/14	11/14	11/14
A:90%以上達成している(13～14)			
B:半数以上が達成している(7～12)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0～6)			

重点取組分野4 キャリア教育(公)

(1)できることを考えて挑戦し、自分で決めたことをやり遂げる力を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	1	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。 「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	87
			全国	0	0	72.5
	2	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。 「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	92
			全国	0	0	87.2
職員	3	⑭自己肯定感を高めるために自分づくりパスポートを活用しようと指導した			A	
学校	4	自分づくりパスポートを作成し、活用する。			新規 実施	

(2)地域貢献・社会参画する力、協働的に解決する力を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	5	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計【55%=市の目標値】	今宿小	75	74	72
			全国	0	0	51.3
	6	今住んでいる地域の行事に参加していますか。 「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計【70%以上】	今宿小	0	0	52
			全国	0	0	52.7
	7	友達と協力するのは楽しいと思えますか。 「思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	95
			全国	0	0	94
職員	8	⑮集団の課題を主体的に解決する力を育成するために「実行委員会」「係」等を指導した			A	
職員	9	⑯集団の課題を主体的に解決する力を育成するために「クラブ・委員会」を指導した			A	
学校	10	「横浜子ども会議」に参加し、「誰にとっても居心地のよい学校づくり」を全校で考え、できることを考えて実践する。	(実施)	(実施)	実施	
	11	区が実施しているジュニアボランティアに参加するよう児童に呼びかける。	(実施)	(実施)	実施	
	12	地域のお祭りがあるときには児童に紹介するとともに、管理職がお祭りに伺い児童の活躍を見守る。	(実施)	(実施)	実施	

(3)夢をもち、人の役に立とうとする心を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	13	将来の夢や目標を持っていますか。(全) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計【80%以上】	今宿小	88	90	88
			全国	0	0	79.8
	14	人の役に立つ人間になりたいと思えますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	91	94	94
			全国	0	0	95.1
学校	15	外部講師を招いて人権や福祉など様々な授業を実施する。	(実施)	実施	実施	
	16	SDGsを学習して考えたことを文章に表し、「国際平和スピーチコンテスト」に参加して旭区小学校に発表する。		新規	実施	
	17	実行委員や係を決めるときに、プロジェクト型の経験を積めるような進め方をする。		新規	実施	

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	7/8	12/14	15/17
A:90%以上達成している(16~17)			
B:半数以上が達成している(9~15)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~8)			

重点取組分野5 国際教育・ESD(開)

(1)外国語に親しみ積極的にかかわろうとする態度を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	1	英語で進んでコミュニケーションを図りたいと思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%＝市の目標値】	今宿小	0	0	73
			横浜市	0	0	80.2
職員	2	⑰英語に親しむためと理解して楽しく学習できるように指導した			A	
	3	⑱多様性を認める心育成のためと理解して国際理解教室を指導した			A	
	4	⑲多様性を認める心育成のためと理解して国際理解教室以外にも外国文化の学習を行った			B	
	5	⑳外国文化理解を深めるためと理解して日本文化の学習を行った			C	
学校	6	学年に応じて日本や外国の文化に触れ、国際協力や国際社会について考え多様性を認める素地を養う。		国際理解教室,YICAを実施	国際理解教室,YICAを実施	国際理解教室,YICAを実施
	7	外国語活動・外国語学習の研修を実施する。		実施	実施	

(2)世界に目を向ける態度を育てるとともに、ICT機器を活用する力を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	8	学校で、授業中に、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか。(インターネット検索など)「いつも」「ときどき」の割合の合計【50%以上】	今宿小	0	0	65
			全国	0	0	43.9
児童	9	学習の中でPCやタブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思いますか。「思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【全国の平均以上】	今宿小	0	0	97
			全国	0	0	94.4
職員	10	㉑課題に気づき解決しようとする力育成のため「プログラミング教育」の授業に取り組んだ			B	
	11	㉒課題に気づき解決しようとする力育成のため「情報教育」(スキル、モラル、シチズンシップ)の授業に取り組んだ			B	
学校	12	SDGs関連の書籍を図書室に用意する。		実施	実施	

(3)課題に気づき解決しようとする力を育てる。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	13	学習を通して見いだした地域や社会の課題を自分たちで解決できると思いますか。「思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【小4～6平均60%＝市の目標値】	今宿小	0	0	83
			横浜市	0	0	72.7
職員	14	㉓課題に気づき解決しようとする力育成のため「ESD」(SDGs)の授業に取り組んだ			B	
学校	15	外部機関と連携したプログラミング学習を実施する。		(実施)	実施	
		フラワーレーンプロジェクト(オリンピック・パラリンピック教育)に取り組む。		実施		

※(実施)は昨年度は評価項目に入れていない

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	4/8	8/12	9/15
A:90%以上達成している(14～15)			
B:半数以上が達成している(8～13)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0～7)			

重点取組分野6 児童理解・指導

(1)「今宿スタンダード」をもとに、朝会等も活用して統一した指導をし、問題行動の防止に努める。

			R2年度	R3年度	R4年度	
児童	1	学校に行くのは楽しいと思いますか。 「思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	91
			全国	0	0	85.4
	2	困りごとや不安があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。「いつでも」「必要なら相談できる」の割合の合計【90%以上】	今宿小	0	0	81
			全国	0	0	68.1
学校	3	「今宿スタンダード」の共通理解を図る。【年度初めに実施】	実施	実施	実施	
	4	朝会や学年集会、学級などで、学校の決まりについて指導する。	実施	実施	実施	

(2)診断やYPアセスメント等を活用し、児童の実態に応じた指導を行う。

			R2年度	R3年度	R4年度
職員	5	㊸YPアセスメントの結果を踏まえて学級経営、授業、行事などで改善するように取り組んだ			A
学校	6	教育相談の結果を踏まえた指導をする。	実施	実施	実施
	7	YPアセスメントを実施する。【年2回＝市の方針】	実施	実施	実施

(3)機関や家庭と連携を図り、児童を中心に据えた指導や特別支援教育を行う。

			R2年度	R3年度	R4年度
学校	8	療育センターや特別支援学校のセンター的機能を活用したコンサルテーションを実施する。【年3回以上】	実施	実施	実施
	9	対象児童の個別の指導計画を作成する。【作成100%】	作成	作成	作成
	10	支援を必要とする児童への取り出し授業を実施する。	実施	実施	実施
	11	特別支援教育を実施する。【支援教室実施、支援制度の活用】	実施	実施	実施
	12	特別支援教育職員研修を実施する。	実施	実施	実施
	13	教育委員会と連携して課題解決に取り組む。(SSWや課題解決チームの派遣要請)	実施	実施	実施
	14	家庭と連携を図り、登校支援アプローチプランの作成・活用を通して、不登校児童への具体的な対応に努める。 【年間欠席日数30日以上的人数が前年度より減】	28 5増	23 5減	17 6減

ⒺR4.1月末まで ⒺR5.1月末まで

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	14/16	16/16	13/14
A:90%以上達成している(13～14)		A	A
B:半数以上が達成している(7～12)	B		
C:達成したのは半数未満である(0～6)			

重点取組分野7 いじめへの対応

(1) 定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。

		R2年度	R3年度	R4年度	
職員	1	㊸児童の状況把握やいじめの早期発見のためと理解して児童面談に取り組んだ			A
	2	㊹児童の状況把握やいじめの早期発見のためと理解していじめアンケートに取り組んだ			A
学校	3	児童へのいじめアンケートを実施する。【年2回以上】	実施	実施	実施
	4	保護者面談等で児童の状況を把握する。【年2回以上】	実施	実施	実施

(2) いじめ防止対策委員会を定期的に関きいじめに組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。

		R2年度	R3年度	R4年度	
職員	5	㊺YPアセスメントの結果を踏まえて学級経営、授業、行事などで改善するように取り組んだ			A
学校	6	いじめ防止対策委員会を定期的に関く。【年12回以上】	実施	実施	実施
	7	職員いじめ防止研修の実施【年1回以上】	実施	実施	実施
	8	職員傾聴研修の実施【年1回以上】	実施	実施	実施

(3) 児童支援専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期解決に努める。

		R2年度	R3年度	R4年度	
児童	9	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小 98	98	97
			全国 97	96.8	96.8
学校	10	いじめを積極的に認知し、教育委員会に報告するとともに、組織的・継続的に指導に当たる。【認知件数100%報告】	100%報告	100%報告	100%報告
	11	いじめ防止対策委員会を週1回行う。	(実施)	実施	実施

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
		10/10	11/11
A:90%以上達成している(10~11)	A	A	A
B:半数以上が達成している(6~9)			
C:達成したのは半数未満である(0~5)			

重点取組分野8 信頼される学校づくり

(1)安全・快適な環境づくり、防犯意識・安全意識のための訓練や研修、点検の実施

		R2年度	R3年度	R4年度	
学校	1	避難訓練を実施する。【年7回以上】	実施	実施	実施
	2	職員安全研修を実施する。【年1回以上】	実施	実施	実施
	3	施設点検を実施する。【年1回以上】	実施	実施	実施
	4	安全点検を実施する。【年11回以上】	実施	実施	実施
	5	施設不備等に対して迅速に対応する。	実施	実施	実施
	6	個別支援学級の教室環境を整備する。			新規

(2)学校広報、学校評価の充実

		R2年度	R3年度	R4年度	
学校	7	学校だよりから学校WEBページを見られるようにする。	継続	継続	継続
	8	学校教育目標実現に向けた取組を学校だよりで発信する。【年11回】	実施	実施	実施
	9	学校教育説明会等でICTを活用して分かりやすく伝える。	活用	活用	活用
	10	学校教育目標実現に向けた取組を学校HPで発信し、アクセス数を増やす。【毎月前年度以上】	32618 前年度以上	20045 2022/2/10	10635 2023/1/20
	11	学校教育目標実現に向けた取組を積極的に発信する。(学校説明会や学級の様子の動画など)		実施	実施

(3)コンプライアンスの徹底

		R2年度	R3年度	R4年度	
職員	12	㊟不祥事を起こさないように取り組んだ			A
学校	13	情報管理研修を実施する。	実施	実施	実施
	14	不祥事防止研修を実施する。【11回以上】	実施	実施	実施

(4)幼保小連携、小中連携

		R2年度	R3年度	R4年度	
学校	15	幼保小連携事業の総会・講演会に参加する。	参加	参加	参加
	16	幼保小連携ブロック内の園と交流する。	実施	実施	実施
	17	中学校ブロック授業研究会を実施する。	実施	実施	実施
	18	中学校ブロック研修を実施する。	実施	実施	実施
	19	中学校ブロック児童生徒交流会を実施する。	実施	実施	実施
	20	中学校ブロック横浜こども会議を実施する。	実施	実施	実施
	21	中学校ブロック人権教育推進協議会を実施する。	実施	実施	実施
	22	中学校ブロック児童支援専任会を実施する。	実施	実施	実施
	23	中学校ブロック校長会を実施する。	実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	18/20	18/19	22/23
A:90%以上達成している(21~23)	A	A	A
B:半数以上が達成している(12~20)			
C:達成したのは半数未満である(0~11)			

重点取組分野9 人材育成・組織運営(働き方改革)

(1)キャリアステージに応じた目標設定

		R2年度	R3年度	R4年度	
職員	1	⑳自分の研修計画にそって、Leaf等の研修に参加した。			C
	2	㉑自分のキャリアステージに応じた目標を設定し、達成の為に具体的に取り組んだ			A
	3	㉒コーチング、思考ツール、映画などの研修を授業改善に役に立てることができたと思う			B
	4	㉓職員室の図書貸出を授業改善に役立てることができたと思う			B
学校	5	実施	実施	実施	

(2)校務のICT化、マニュアル化、情報共有化の促進 →働き方改革の推進

		R2年度	R3年度	R4年度	
職員	6	㉔「豊かな人生」となるように、自分の働き方やライフワークバランスを意識して働いた			A
	7	㉕80時間以上の時間外勤務にならないように働いている(年間を通して1回以下の割合)			A
	8	㉖19時前に退勤した(7割以上19時前に退勤した割合)			B
学校	9	実施	実施	実施	
	10	実施	実施	実施	
	11	実施	実施	実施	
	12	実施	実施	実施	
	13	実施	実施	実施	
	14	実施	実施	実施	
	15	実施	実施	実施	

(3)運営委員会、校内教科領域推進系の効果的・効率的な運営、校務の充実とスリム化

		R2年度	R3年度	R4年度	
職員	16	㉗効果的で効率の良い運営となるように考え「課題解決シート」に提案を上げた			A
学校	17	実施	実施	実施	
	18	実施	実施	実施	
	19	実施	実施	実施	
	20	実施	実施	実施	
	21	実施	実施	実施	
	22	実施	実施	実施	
	23		新規	実施	
	24		新規	実施	
	25		新規	実施	

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
		18/20	21/25
A:90%以上達成している(23~25)		A	
B:半数以上が達成している(13~22)			B
C:達成したのは半数未満である(0~12)			

重点取組分野10 地域連携・学校運営協議会

(1)まちを大切にす心育成

		R2年度	R3年度	R4年度
学 校	1	今宿地区社協、PTAと協力して「放課後自習室」を実施する。	新規	継続
	2	主任児童委員や地域と協力して「おはやしクラブ」を実施する。	新規	継続
		次年度に向けて「学校・地域コーディネーター」候補を選ぶ。	新規	
	3	「学校・地域コーディネーター」と担当職員の会合をもつ。		新規

(2)児童の安心・安全や環境づくりのためPTA、保護者、地域との連携

		R2年度	R3年度	R4年度
学 校	4	PTA実行委員会に管理職が参加する。【毎回】	継続	継続
	5	PTAと協力して登校班を運営する。	継続	継続
	6	PTAと協力して給食試食会を実施する。		再開
	7	PTAと協力して広報誌を発行する。	実施	継続
	8	PTAと協力して校内パトロールを実施する。		再開
	9	保護者の協力を得て、読み聞かせを実施する。		再開
	10	地域の児童指導委員と協力してジュニアボランティアを募集する。	実施	継続
	11	地域と協力して児童の登下校の安全を図る。	継続	継続
		地域の青少年指導員、児童指導委員を児童活動にお招きする。	継続	継続
	12	中学校ブロックで学校運営協議会立ち上げの準備をする。		新規

目標を達成している項目数	R2年度	R3年度	R4年度
	18/20	18/19	12/12
A:90%以上達成している(11~12)	A	A	A
B:半数以上が達成している(6~10)			
C:達成したのは半数未満である(0~5)			